

ご快復への気持ちを込めて

栄養管理部では、今年4月よりお誕生日を迎えられた入院患者さんに、誕生カードと折鶴を添えてお祝いメッセージを贈っています。

栄養管理部一同、早期のご快復を祈る気持ちを込めています。



事務職員を採用します

**職種**：Office Clerk for Doctors (医師事務作業補助スタッフ)  
**雇用形態**：契約職員  
**仕事内容**：診断書などの文書作成補助、電子カルテシステムへの代行入力、院内がん登録補助、医師の事務作業の補助等  
**募集人数**：数名

私たちと一緒に働きましょう♪

詳細は当院のホームページをご覧ください。  
 ご不明な点は下記連絡先にお問い合わせください。



社会医療法人  
 製鉄記念八幡病院 人事課  
 TEL 093-672-3176  
 FAX 093-671-9605

診療科目

内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科
呼吸器外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科	形成外科
産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科
病理診断科	放射線科	麻酔科			

専門外来

内科	血液外来／甲状腺外来／膠原病外来／ペースメーカー外来／腹膜透析外来／禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来（睡眠時無呼吸症候群）	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング	小児科	小児循環器／小児神経／小児腎臓／小児肥満	放射線科	放射線治療外来
		外科	乳腺外来	緩和ケア	緩和ケア外来

休診日：土曜、日曜、祝日

■ 予約センター：093-671-5489

■ 夜間休日急患受付：093-672-3111

全科予約制

予約受付時間 8:00～16:00  
 当日予約 10:30まで



理念

安心・安全  
 患者さんの安心・安全  
 職員の安心・安全  
 病院の安心・安全

基本方針

患者さんの人権を尊重し  
 インフォームド・コンセントを大切に  
 安心して任せられる医療とサービスを提供します  
 地域との連携を大切に かかりつけ医との協力のもと  
 24時間信頼される診療体制を充実させます  
 最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め  
 チーム医療の推進を図ります

こんにちは  
 せいてつ  
 病院です

発行日 2014年7月1日

発行部数 4,500部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
 〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1  
 TEL 093-672-3176  
 http://www.ns.yawata-mhp.or.jp  
 編集・発行責任者：病院長 石束 隆男

● 広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp  
 ● 地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷：よしみ工業株式会社 表紙イラスト：かわぐち たまよ

こんにちは  
 せいてつ  
 病院です

地域医療支援病院 日本医療機能評価認定病院  
 社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
 http://www.ns.yawata-mhp.or.jp

せいてつびょういん 検索

特集

こんにちは皮膚科です！

● こんにちは探検隊  
 もりその内科

● 診療科のご紹介  
 耳鼻咽喉科

● 新任医師紹介

● 医療をささえる看護のちから  
 A外来

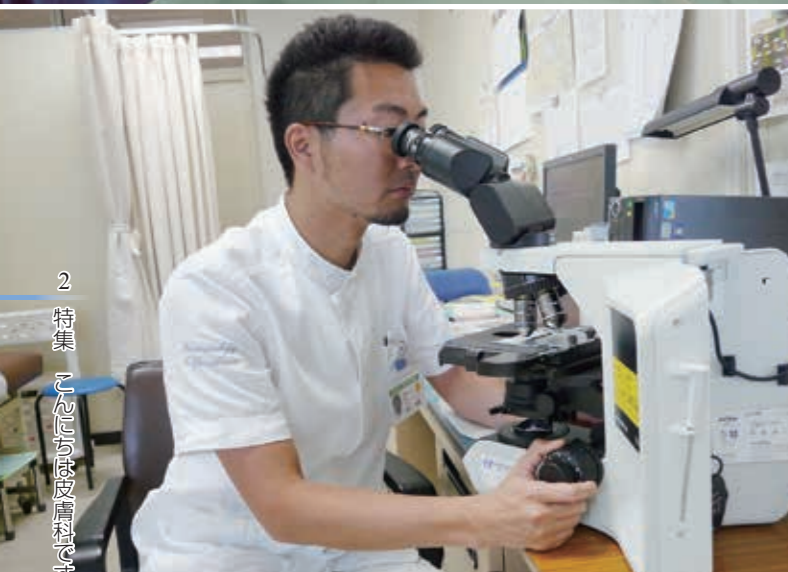
● なるほど！なっ得！薬の話  
 食中毒に注意



前号より広報委員を務めております。編集に関わる中、本誌は患者さんとの信頼関係を築く重要な役割であると感じています。多くの方に手に取って頂けるよう、今年度も頑張りたいと思います。

救急部 栗原 千波

# こんにちは皮膚科です！



2 特集 こんにちは皮膚科です！

皮膚の病気は、人目に触れる場所に症状がでるため、患者さんの「生活の質」が低下してしまうことが多くあります。私たちは症状の原因を探し、それぞれの病気や皮膚の状態にあった治療を行う事で、患者さんの「生活の質」が向上することをめざしています。

## 意外に多い皮膚がん

皮膚がんは目で見える部位にできることが多いので、他のがんと比べると早期に発見することができます。北九州地方は皮膚がんの発症率が国内でも高いことが知られており(表1)、他の症状で来院された患者さんに皮膚がんが認められることも時々あります。

都市名	新患者さんに対する割合(%)
北九州市	6.1
久留米市	5.4
福岡市	0.8
山口市	1.1
京都市	0.6
横浜市	0.7
松江市	0.7

※Bowen癌のデータを大学病院の所在都市名で記載  
 (表1) 都市別での皮膚がんの割合  
 引用文献：戸倉新樹ほか、日皮会誌、118(14)2008

## 早期の皮膚がんの特徴

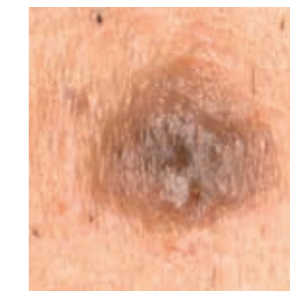
国内での皮膚がんの頻度では、表皮の細胞が癌化した「有棘細胞がん」、毛の細胞からの「基底細胞がん」、色素細胞からの「悪性黒色腫」が全体の8割を占めています。これらのがんは早期の段階では



湿疹



湿疹に似たがん



ほくろ



ほくろのがん

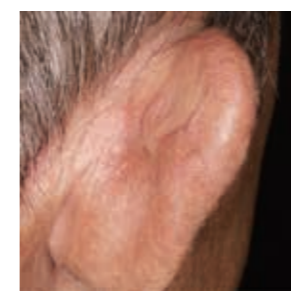
良性の皮膚疾患との区別が難しいですが、拡大鏡や病理検査などで正確な診断を行い、早めの治療を提供できるように心がけています。

## 手術に関して

がんの手術では周囲の正常な皮膚を含めて切除することが必要になりますが、できものを取った後の傷の修復(再建)は傷跡が目立ちにくいようにしています。また、本人の体力負担や合併症も考慮して、ほとんどの手術を局所麻酔で行っています。

※再建の方法としては、離れた部位にある自分の皮膚を移植する「植皮」と、皮膚欠損部周囲の皮膚を大きく移動させて傷を閉じる「皮弁」の方法があります。

いずれの方法でもできるだけ傷跡が目立ちにくいように、見た目のバランスが崩れない方法を考えて治療計画を立てています。また、良性腫瘍では高周波メスを用いた皮膚剥削術も行っています。



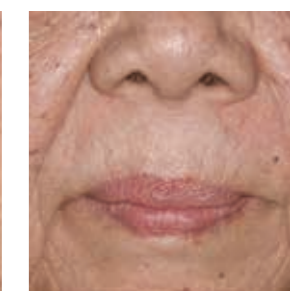
腫瘍切除後に植皮



手術前

高周波メスでの手術

手術後



手術前

腫瘍切除後に皮弁形成

手術後

## さいごに

皮膚科で処方する薬はどの医師でも処方できます。また、皮膚科専門医が常勤でない総合病院も多くあります。では、皮膚科の専門医が役に立てることは何なのでしょう？それは疾患と治療に関する正確な知識を持ち、患者さんにわかりやすい説明ができ、「生活の質」を考えた治療選択肢の提供をできることだと考えています。私たちは患者さんにわかりやすい説明を行って理解をしてもらい、ともに病気に立ち向かうことをめざしています。

皮膚科 TEL 093-671-9327

皮膚科医長  
**安川 晋輔**  
やすかわ しんすけ  
 日本皮膚科学会専門医



3 特集 こんにちは皮膚科です！

もりその内科

今回の探検隊は、平成17年当院ご退職後に開院され、もうすぐ10年目になるもりその内科を訪問しました。糖尿病を中心に内科疾患一般を診療され、開業して以来、年末年始以外に休診日を作らず、1年360日以上外来診療を続けておられます。



院長 森園 茂明 先生



Q：貴院の特色やPR点、またスタッフの方々について

A：外来がスムーズに受診できることが一番の特色です。また、すぐにHbA1cが分かること、予約なしでCTやエコー検査ができることなどです。スタッフは全員明るいです。常勤で臨床検査技師、管理栄養士がいます。

Q：その他にも何かございましたら

A：クリニック以外にも、住宅型有料老人ホーム・デイサービスも併設しています。入居施設は、医療費・介護費・生活費・食費・その他雑費すべて合わせて 自己負担7~10万以内と、かなり割安となっています。平成27年4月には制度が変わるので、少し自己負担が上がります。さらに特定施設（介護付き有料老人ホーム）を建設予定です。

Q：当院へのメッセージ

A：これまでどおり、高度な医療を続けていただきますよう頑張ってください。

Q：森園先生のモットーをお聞かせください

A：ガイドラインやエビデンスも大事ですが、それにとらわれることなく、患者さんの生活状況、経済状況に応じたオーダーメイドの治療を心がけています。また、最近はインターネットでさまざまな医療情報を得られるため、「この治療をしてください」と言われることもあります。できるだけ希望の治療に添えるように勉強し、サポートをしています。そのためか遠方から通院される方もいます。



▲HbA1c測定装置 ▲CT



もりその内科  
北九州市八幡西区上上津役2-14-17  
TEL 093-611-5335

診療時間

	月	火	水	木	金	土・祝	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○ ~12:30
13:30~18:30	○	○	○	○	○	○	○ ~17:00

病院のロゴマーク“もりぞう君”は、もりその内科をイメージして知人のイラストレーターに製作して頂いたそうです。森園院長はほぼ毎日ブログを更新されており、最近では来院患者さんにも楽しみにされている読者が増えているそうです。病院の待合室には、管理栄養士さん手づくりの情報誌などがあり、待ち時間を感じさせない印象でした。

今回の探検隊

リハビリテーション部  
松永 裕也  
医事部  
平田 奏子



診療科のご紹介

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科では、みみ、はな、のどの様々な疾患の診断、治療を行っています。耳鼻咽喉科は聴覚、嗅覚、味覚などの感覚、発声や嚥下（飲み込み）など、コミュニケーションや感覚、食事に影響する大事なはたらきと深い関わりがあります。その障害や疾患は、生活の質に大きく影響するため、それぞれの患者さんの状態にあわせて、より良い治療を提供できるよう努めています。



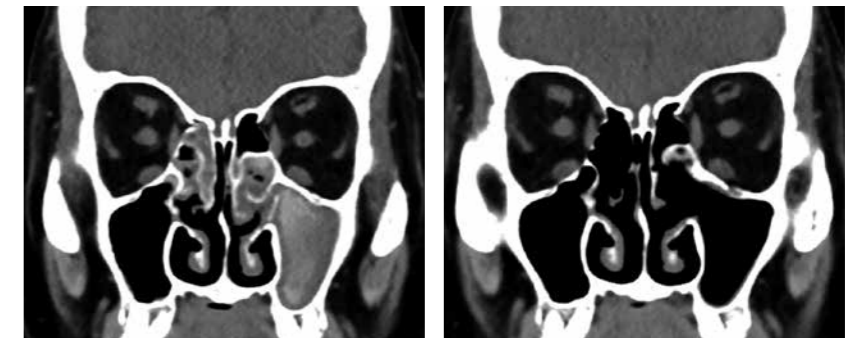
耳鼻咽喉科医長  
大蔵 謙治  
日本耳鼻咽喉科学会専門医

耳鼻咽喉科  
五島 透

診療対象疾患

みみ	難聴、耳鳴、中耳炎、めまい、顔面神経麻痺
はな	副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻中隔湾曲症
のど	扁桃炎、アデノイド、嗄声（声がれ）、声帯ポリープ、声帯結節
くび	耳下腺疾患、顎下腺疾患、甲状腺疾患、頸部腫瘍など

平成26(2014)年4月より耳鼻咽喉科常勤医が一人から二人へ増員となりました。重症の急性扁桃炎や急性喉頭蓋炎、突発性難聴や末梢性顔面神経麻痺などのように、急に入院や治療が必要となる疾患については、特に迅速な対応を心がけています。



副鼻腔炎のCT画像

(手術前)

(手術後)

手術は、聴力改善の鼓室形成術など耳の手術を積極的に行っています。

耳科手術の対象疾患：慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、鼓膜穿孔、耳硬化症など

副鼻腔炎(蓄膿症)では、膿がたまったり、鼻のポリープができたりして、鼻汁や鼻づまり、嗅覚障害などの症状がでます。副鼻腔炎の手術は、低侵襲な内視鏡を用いた手術を行っています。内視鏡下副鼻腔手術では、顔や口の中を切開することなく、鼻の穴から手術を行います。

大蔵 謙治

●診療担当表

	月	火	水	木	金
午前	●	手術日	●	●	●

耳鼻咽喉科 TEL 093-671-9332

# 新任医師紹介

4月1日より30名の新任医師が着任し、診療に励んでいます。  
ご心配なことがあれば気軽にご相談ください。



**消化器内科**  
保利 喜史  
＜専門＞  
食道、胃、小腸、大腸  
がんばります!!



**消化器内科**  
大石 篤美  
＜専門＞  
食道、胃、小腸、大腸  
消化器内科の大石篤美です。不慣れなことも多くご迷惑をおかけしますが、頑張りますので宜しくお願いします。



**循環器内科**  
茨木 愛  
＜専門＞  
高血圧  
循環器内科に勤務しています。今回糖尿病領域まで幅広く勉強し、スキルアップしたいと思います。



**整形外科**  
安部 大輔  
＜専門＞  
整形外科一般  
こんにちは。整形外科2年目の安部大輔と申します。整形外科一般を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。



**皮膚科**  
村田 真帆  
＜専門＞  
皮膚科一般  
はじめまして。皮膚科3年目になりました村田真帆と申します。よろしくお願いいたします。



**泌尿器科**  
武田 充絵  
＜専門＞  
泌尿器科一般  
2年ぶりに北九州で働くことになりました。頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



**糖尿病内科医長**  
井元 博文  
＜専門＞  
糖尿病  
みなさんと一緒に楽しく仕事をさせていただきたいと存じます。今後共々よろしくお願いいたします。



**腎臓内科**  
上村 麻衣  
＜専門＞  
腎臓透析療法  
(血流透析、腹膜透析)  
門司掖済会病院より異動となりました。腎臓内科外来、入院、透析を担当します。よろしくお願いいたします。



**心療内科医長**  
横山 寛明  
＜専門＞  
心身医学、糖尿病  
内科系心身症、軽症うつ病、軽症神経症を中心に診療しています。お役に立てるよう精一杯頑張ります。



**耳鼻咽喉科**  
五島 透  
＜専門＞  
耳鼻咽喉科一般  
出身地である北九州に戻ってまいりました。まだまだ未熟ですが、一生懸命診療に従事していきます。



**放射線科**  
宮田 真里  
＜専門＞  
放射線科一般  
放射線科2年目です。色々勉強させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



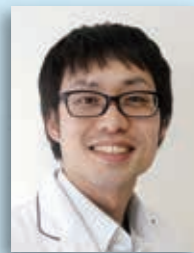
**呼吸器内科**  
丈達 陽順  
＜専門＞  
呼吸器  
はじめまして。呼吸器内科で勤務させていただきます。5年目の丈達です。よろしくお願いいたします。



**呼吸器内科**  
緒方 大聡  
＜専門＞  
呼吸器  
はじめまして。緒方大聡と申します。フレッシュな気持ちで頑張ります。よろしくお願いいたします。



**脳血管内科**  
金沢 信  
＜専門＞  
脳卒中  
4月からお世話になります。脳内1年目の金沢と申します。緊張しています。人見知りです。がんばります。



**脳血管内科**  
田川 直樹  
＜専門＞  
脳血管障害  
患者さんに安心していただけるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



**脳神経外科部長**  
中溝 玲  
＜専門＞  
脳血管障害、脳腫瘍、脊髄腫瘍  
九州一の脳卒中センターをめざします。脳血管障害、脳腫瘍、脊髄腫瘍が専門です。よろしくお願いいたします。



**外科部長**  
折田 博之  
＜専門＞  
食道・胃・大腸、内視鏡外科  
集学的治療により消化器がんの根治をめざし、鏡視下手術を通して患者さんに優しい治療に努めます。



**外科**  
武藤 純  
＜専門＞  
消化器  
九州大学消化器・総合外科から着任しました。大学では肝臓がんの研究をしていました。よろしくお願いいたします。



**外科**  
上尾 裕紀  
＜専門＞  
乳腺  
乳腺外科として着任した上尾裕紀です。患者さんに合わせた専門性の高い医療の提供をめざしています。



**整形外科**  
居石 卓也  
＜専門＞  
整形外科一般  
九州中央病院から来ました居石と申します。未熟でご迷惑をおかけすると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

**研修医1年次集合**

「なりたい医師  
理想の医師」

患者さんに寄りそい、  
信頼される医師  
木村 俊介

患者さんに寄り添うこと  
のできる誠実な医師  
高尾 智彬

患者さんに寄り添う、  
熱意のある医師  
湯川 恭平

患者さんの痛みを寄り  
添える医師  
満尾 博

患者さんに信頼と安心  
を与える医師  
小田 隆太郎

誰からも信頼され、  
能力を発揮できる医師  
今津 愛介

みなさんから身近に  
感じてもらえる医師  
樋口 優

患者さんやスタッフ  
から信頼される医師  
津田 美希

患者さんに寄り添い  
信頼でき安心できる医師  
二宮 知慧

患者さんに寄り添い、  
信頼してもらえる医師  
滝 悠里

# A 外来

内科・肝臓内科・循環器内科・脳血管内科・  
消化器内科・糖尿病内科・腎臓内科・  
呼吸器内科・心療内科



当院では今年3月から、外来の看護機能体制を専門性が高く連携しやすい体制にするため、診療部(A～C外来)と検査・治療部門(D～F外来)に分けました。担当師長を2名に増員し、看護師の配置変更を行いました。

A外来は、内科・肝臓内科・循環器内科・脳血管内科・消化器内科・糖尿病内科・腎臓内科・呼吸器内科・心療内科の9科と甲状腺外来・膠原病外来・血液外来・放射線治療の専門外来を取り扱っています。内科は4月から土橋副院長を迎え、高血圧センターが立ち上がり、肝臓内科は梶原副院長を中心にC型肝炎に対する最新の治療を他院に先駆けて取り組んでいます。



## A外来の 基本方針

1. 紹介元医療機関の信頼を基本に安心・安全な医療を提供します
2. 医師をはじめ病院職員との連携のもと、最良で専門性の高い外来診療を提供します

2つ基本方針を柱とし、スタッフ15人で外来看護に携わっています。スタッフはベテランばかりですが、日々勉強を重ね、高度な看護が提供できるよう一致団結して頑張っています。

A外来の特徴の一つとして、糖尿病教育指導を専用の指導室で行っています。外来患者さんはもとよ

り病棟患者さんのインスリン自己注射指導や、血糖測定器指導などを30分以上の時間をかけて行っています。また、昨年より糖尿病透析予防外来がはじまり、3名の糖尿病療養指導看護師による専門の指導を行い透析予防にも力を入れています。今後も糖尿病教育指導に積極的に取り組んでいく予定です。



1日平均220名前後の内科を主とした患者さんが受診される中、気分の悪い方や足元の不自由な方などに配慮して、ベッドへの移動や診察室へのご案内をしています。昨年からは、患者さんの診察の流れがよくなるように、新患者さんの問診の担当者を1人から複数人で対応するようにしました。また、今年4月から指導室を受付横に移動し、患者さんの導線を短くするような工夫を行いました。

A外来では患者さんが安心して検査や入院ができるよう、わかりやすく丁寧な説明や指導を心がけています。明るく元気なスタッフばかりです。どうぞ気軽にお声かけください。



# 薬の話

なるほど!  
なっ得!

## 食中毒に注意

食中毒は、食べものに付着した細菌を摂取することで吐き気・嘔吐・下痢などが起こります。梅雨時は温度・湿度が細菌の増殖に適しているため、毎年患者数が急増する時期です。抵抗力の弱いお子さんやお年寄りでは重症化することもあり、特に注意が必要です。

### 食中毒になったら

食中毒になった時の基本的な対処法は、水分をしっかり摂ることで、これによって嘔吐・下痢で失う水分を補給し、脱水状態にならないようにします。市販薬を使用する場合、整腸剤は有効ですが、下痢止めや解熱鎮痛薬は自己判断での服用を控えましょう。下痢止めは細菌の排泄を遅らせてしまうことがあり、解熱鎮痛薬は感染による消化管内の炎症を悪化させてしまうことがあるためです。

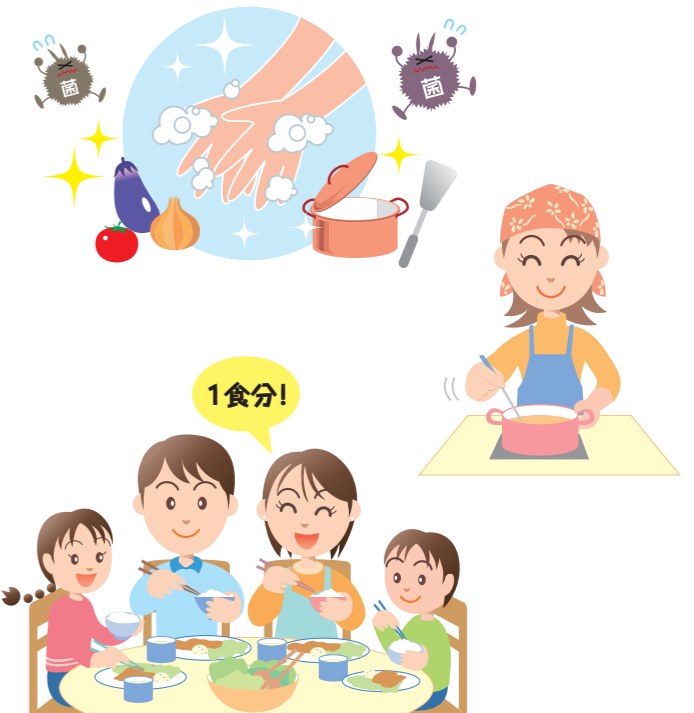


水分をしっかり摂りましょう

### 予防

食中毒を予防するのに大切なことは細菌を付けない、増やさない、殺菌することです。

- 1 細菌を付けないためには手や調理器具をよく洗いましょう。生鮮食品を調理前に流水で洗うのも細菌を洗い落とすのに有効です。
- 2 細菌を増やさないためには生鮮食品や調理したものを早めに食べましょう。できるだけ、すぐ食べきる量を調理して作り置きしないようにしましょう。殺菌するにはしっかりと食品に火を通しましょう。再加熱するときも温める程度ではなく、かき混ぜるなどしながら内部まで十分に火を入れなおしましょう。



冷たいものを摂ることが多くなる季節でもあるので、腹痛や下痢は必ずしも食中毒とは限りません。しかし、1日に何度も嘔吐・下痢をする、便に血が混ざる、ふらふらするなどの症状がある場合は食中毒の疑いもあるため、早めに医師の診断を受けましょう。

# 臨床検査技師の やさしいゼミ 検査の略語

検査結果をもらっても、略語が多く、何のことか分からないといったことはありませんか？  
そこで普段よく行われる検査について、略語の意味をやさしく解説します。



	Ca	IP
正式名称	カルシウム calcium	無機リン inorganic phosphate
基準値	8.7~10.3mg/dl	2.5~4.7mg/dl
説明	カルシウムの99%は骨と歯を形成し、残りは血液中に存在しています。神経・筋肉の活動を促進したり、血液凝固に関与します。副甲状腺ホルモンやビタミンDにより調節されています。	リンの約85%は骨や歯を形成します。カルシウムの調節、エネルギー代謝に関与します。副甲状腺ホルモンやビタミンDにより調節されています。
結果	高値	副甲状腺機能亢進症、腎不全、ビタミンD中毒
	低値	副甲状腺機能亢進症、ビタミンD不足



病院ご利用の

## 賢い選択

### 自立支援医療(更生医療)～心臓機能障害～

更生医療とは、18歳以上で、身体障害者が自立するために、経皮的冠動脈ステント留置術・冠動脈形成術・カテーテル心筋焼灼術やペースメーカー挿入術などの手術が必要であると認められるとき、その身体機能の障害を軽減したり、改善するために必要な治療費を国が助成する制度です。

#### ● 申請方法

- ①身体障害者診断書・意見書(心臓機能障害用)
- ②更生医療要否意見書(心臓機能障害用)
- ③健康保険証
- ④印鑑
- ⑤身体障害者手帳(※現在お持ちの方のみ)

- (1) 各市区町村担当課で、①②の用紙を受取る用紙を病院医事課に提出・申込み
- (2) 担当医記入後、医事課より電話連絡受取後、①～⑤をご持参の上、各市区町村福祉課へ申請

■お問い合わせ 医事課 三宮  
TEL 093-672-3186 (9:00~16:00)  
※じん臓機能障害の場合は、次号にて掲載

#### ● 申請が認められた場合

更生医療の世帯所得別月額上限額について

世帯区分	自己負担限度額/1ヶ月	
	市県民税非課税世帯	市県民税課税世帯
生活保護世帯	0円	0円
	受診者の年間収入80万円以下(低所得者Ⅰ)	2,500円
受診者の年間収入80万円超え(低所得者Ⅱ)	5,000円	
市県民税課税世帯	市県民税額が年間33,000円未満	1割負担/医療保険の自己負担限度額
	市県民税額が年間33,000円以上235,000円未満	
	市県民税額が年間235,000円以上	

- \*認定日からの適用となります。
- \*原則1割負担です。
- \*世帯員の所得に応じて負担上限額を設定します。また、所得制限があり、対象外となることがあります。
- \*障害等級1級に該当する場合、障害者手帳とは別に重度障害者医療医療証が交付されます(所得制限等あり)。

## こんにちはInformation

### 糖尿病透析予防外来のご紹介

透析を必要とする患者さんは年々増え続け、透析医療費は患者さん一人あたり年間500万円ほどになり、全医療費の10%を占めるまでになっています。実は、透析となる患者さんの4割は「糖尿病」が原因なのです。

自覚症状が出るのは腎症がかなり進行してからで、ここまで進行すると治療は困難です。しかし、尿タンパクがわずかに出る早期の段階のうちに食事や血糖・血圧の管理をすれば、腎症を悪くしないで済むこともわかってきています。

当院では2013年春より透析予防診療チーム(医師・看護師・管理栄養士)により、患者さん一人ひとりにあわせてきめ細かい指導を行っております。

4ヶ月に1回(全3回)の専門外来で、事前に糖尿病内科外来受診が必要です。尿にタンパクが出始めた方が対象で、負担額は自己負担3割の方で1回あたり約1,100円です。

透析になることを防ぐために、私たちと一緒に考えていきましょう。

糖尿病内科部長 野原 栄



糖尿病腎症透析予防チーム



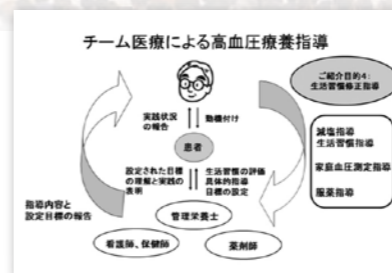
(上段左より) 井元糖尿病内科医長、野原糖尿病内科部長、増田管理栄養士、安永管理栄養士、尾崎看護師、和田管理栄養士、柳田腎臓内科部長、山原看護師、秋山看護師

### 第6回製鉄記念八幡病院地域医療連携の夕べ

6月24日(火)北九州八幡ロイヤルホテルにおいて、約400名の地域医療に携わるみなさまにご参加をいただき「第6回地域医療連携の夕べ」を開催しました。当院の最近の診療状況報告を行い、日頃からご協力、ご支援をいただいておりますみなさまと交流と親睦を深めました。



副院長 高血圧センター長 土橋 卓也



「高血圧センターのご紹介」



外科部長 折田 博之

#### 地域におけるがん診療の課題

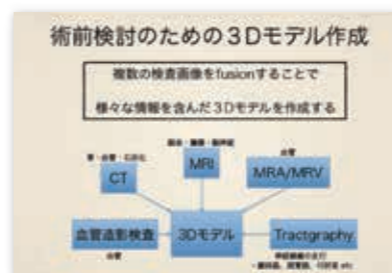
- # 専門的な医療行為の必要性
- # 癌以外の合併症の治療(特に高齢者)
- # 遠隔地からの通院

全人的医療の提供には地域の医療機関の連携が不可欠

「これからの外科診療が目指すもの」



脳神経外科部長 中溝 玲



「脳神経疾患に対する外科治療の進歩」



整形外科主任医長 末永 賢也



「当院における脊椎脊髄外科診療」